

石巻専修大学

石巻専修大学「ホームページ」
http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
0225 (22) 7711
広報専用FAX
0225 (22) 7809

専門性生かし地域復興に貢献

経営学部 2つのゼミ生

経営学部の学生たちが大学で学んだ専門性を生かして、石巻地域の震災復興に活躍している。石原慎士准教授のゼミでは、製品開発中のサバの出汁を使ったそばを仮設住宅の住民に振る舞った。また、山崎泰准教授のゼミ生たちは仮設住宅の生活実態調査を行い、結果を報告した。

石原ゼミ

「サバだし」そば・ラーメンを開発・販売

地域産業の活性化や地域ブランド形成を学ぶ石原ゼミでは、石巻のブランド魚である「金華さば」を生かした「サバだし」に着目。製品開発に取り組んでいる。

8月27日には、石原准教授と7人のゼミ生が宮城県石巻北高校飯野川校内仮設住宅集会所で、サバだしそば100食を住民に提供した。

そばは専修大学北海道短大の農場で生産された

アンケート結果を報告する山崎ゼミの学生



山崎ゼミ

キャンパス周辺の仮設住宅で実態調査

その後、飯野川商店街の歩行者天国に参加し、ゼミ生たちが独自に開発した「サバだしラーメン」の試験販売を実施した。一方、山崎ゼミは8月10日から12日まで、石巻市南境地区の仮設住宅の住民を対象にした生活実態調査を実施(全812戸中573戸にアンケートを配布。うち277戸から回収)。同28日には報告会を開いた。

その結果、住民の世帯主は60歳以上の男性が最も多く、住民の6割が無職で、このうち4割の人々が震災で失職していたことが明らかになった。また、住民の6割以上が住民同士の交流の場や自治会の必要性を感じていました。



仮設住宅で「サバだしそば」を提供(石原ゼミ)

調査結果を受けて同ゼミでは今後、団地内の集会所で交流会などを企画し、住民らの触れ合いの場を作っていく考えだ。

2年連続インカレ出場

和田さん(経営2)健闘



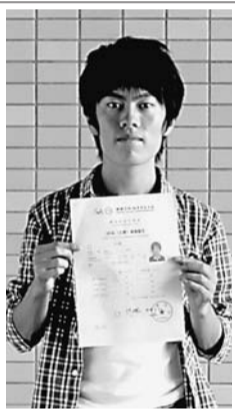
和田さんの力強いフォアハンド

8月25日から東京都江東区の有明テニスの森公園で開催された「平成23年度全日本学生テニス選手権大会(全日本学生テニス連盟主催)」に、硬式テニス部の和田咲良さん(経営2・宮城県泉館山高)が出場した。

女子シングルス予選1回戦は同26日に行われ、和田さんは「今回の反省を生かし、上位入賞を目指して練習に励みます」と意気込みを語った。

北目さん(経営4)がHSK5級に合格

7月24日に行われた中国語認定のHSK5級に合格した。HSKは中国語によるコミュニケーション能力の測定を目的とした実用的な試験で、難易度は6級が最高。世界59カ国で実施されており、筆記5級は中国語の新聞や雑誌が読めるだけでなく、映画やテレビを観ることもできる。北目さんは「HSK5級の合格は、中国語の勉強が実を結んだ」と喜びを語った。



HSK5級に合格した北目さん

就活バスツアーを実施

専大神田キャンパスも見学



宮城県内の求人が少ない現状を打開しようと進路支援係が主催した「就職合宿バスツアー(東京)」が8月16、17の両日に開催され、4年次生13人が参加した。

企業担当者の説明に聞き入る参加学生

温州大学からの留学生帰国

離日前に坂田学長と懇談

国際交流協定校である温州大学から本学に留学する3人を迎え入れていたが、8月27日に帰国した。坂田学長と懇談し、石巻での思い出を語った。



坂田学長と語り合う留学生

16日は都内の企業約20社との合同面接会や人事担当者との情報交換会が、大田区産業プラザで行われた。

17日はフィールドワークとして、秋葉原で「マーケティング調査とアンケート」の講義を受けた。

電気自動車 エコラン競技大会

2チーム参加

2011電気自動車エコラン競技大会 in SUGO」が8月20、21の両日、宮城県村田町のスポーツランドSUGOで行われ、機械工学科自動車工学コースの学生2チームが参加した。



レース前の最終調整を行う学生たち

「共生プラザ」がスタート

専大・大矢根教授ら講師に招く

本学共創研究センターのサテライトキャンパス企画「共生プラザ」が8月から始まった(全5回)。これは本学教員が提供するワークショップに学生や地域住民が参加し、解決策を探るもの。8月19日は、経営学部李東勲准教授がコーディネーターとなり、地域住民と本学のボランティアアサークル所属の学生ら30人が出席。専修大学人間科学部の大矢根准教授が「災害を減らす「減災」の観点から考える「防災マップ」作成の事例を紹介した。地域と本学が共にできる活動や、被災

科学の祭典にぎわう

「学校をつくらう」上映



本学図書館による手作りうちわと紙芝居コーナー

この大会は小型バッテリーを搭載した手作りの電気自動車が1周3・7キロのコースを2時間走行し、最終的な周回数を決める。国内屈指のレースコースを駆け抜けるために、各チームとも手

作りの車両にさまざまな工夫をこらしている。出走41台中、本学の「プラザ」が2位、「サカモト・I」が3位、「N・ワンダーラン号」は29位という結果だった。

の経験を風化させない新しい地域づくりについて話し合った。続く26日も李准教授がコーディネーターを担当。「人が集まる魅力をつくらう」をテーマに、スポーツを通じた地域コミュニティの形成について活発な意見が繰り返された。今後は9月30日、10月28日、12月16日に開催される予定。

2011 石巻祭

テーマ 前進全礼

10/8(土)・9(日)
ライブアーティストは
Rake 甲斐よしひろ
実行委員会ホームページ
http://www.isenshu-u.ac.jp/sekiho/

歌やスポーツなどの催しで被災地を勇気づけるイベント「Pride of JAPAN」が8月20、21の両日、本学森口記念館をメイン会場として開催された。

実行委員会代表が専大OBの雑誌「日出夫さん(平元法)」ということもあり、本学も共催団体として協力。20日には、同じくOBで落語家の立川談修さん(平7法)による寄席などが行われた。翌日は本学の学生たちが石巻の皆さんに応援メッセージを読み上げたほか、本学応援団OBが演武を披露した。